



今月のいいね



オフのときは、
趣味の「ドライブ」や、
ペットの「アオシタカゲ」
と遊んだりしています♪

ばくの名前は、
「真葛」と
言います♪

公益社団法人 日本軽種馬協会 (JBBA)
静岡種馬場 研修課 教官

吉井ちひろさん

栃木県出身。JBBA に勤めて2年目。女性の研修生増加に伴い、同施設における初の女性教官として活躍中です。生産牧場や育成牧場などへの就業を目指す研修生に、強い馬づくりへの基礎技術や知識を教えています。

■ JBBAで働こうと思ったきっかけ

大学で馬術部に所属していたときに、毎年、合宿で2週間ほどJBBAに来ていました。そのときの環境が良かったことが一番のきっかけです。また「馬だけではなく人を育てる」というJBBAの考えに共感し、ここで働きたいと思いました。

■ 仕事の魅力など

全国各地から集まった研修生が、1年間の寮生活を共にする中で、互いに切磋琢磨し、精神面がたくましく成長する姿を見られるところにやりがいを感じています。昨年、初の教え子が修了式を迎え、堂々と馬に乗っている姿を見て、とても感動しました。また、もともと馬が好きな研修生が、さらに馬が好きになっていく様子や、将来、馬に携わる仕事をしていく、その過程に関われていることもうれしいです。

研修生が落ち込んでいるときなど、そのサポートをする中で、私自身が新たな発見をすることも多くあります。私もまだまだ新人なので、外部研修などをもっと積み重ね、ここの修了生が、多くの牧場で活躍できるよう、これからも頑張っていきたいです。



次長 山口直人さん

普段は、おとなしめな感じですが、研修生の前では、強い意思を持って指導しており、良し悪しを明確に伝えています。その姿を見ていると、指導者として適格だと日々感じています。また、プライベートでは、研修生と会話を楽しむなど、その仲の良い姿がいいですね。これからも、初心を忘れず、指導に励んでほしいと思います。

公益社団法人 日本軽種馬協会 (JBBA)

種牡馬の繋養や競り市場の支援など軽種馬の生産に関わる一連の業務を行う内閣府所管の公益社団法人です。牧場後継者を養成する研修のほか、生産・育成関連への就業を目的とした技術者を養成する生産育成技術者研修なども行っています。



(生産育成技術者研修)

1年間の寮生活の中でホースマンとしての基礎を学びます。授業料、寮費、光熱費、寝具類などの費用は無料ですが、食材費や被服費などとして年間50万円程度の実費負担があります。

静岡種馬場 新ひだか町静岡内田原 517 ☎ 46 - 2845



今年4月に入寮した19歳から22歳までの研修生14人(男性9人、女性5人)と教官2人